



園だより

令和2年9月発行

合志こども園 園長 松岡 貴子

「運動発表会」ご協力ありがとうございました

戸外での開催決定において、保護者の皆様にはお仕事の調整や参加人数制限等ご協力いただき感謝しております。コロナ感染が収束していない中での行事開催は、園にとっても検討の連続でした。「子ども達の保護者に伝えたい思い」を大切に考え決定してまいりました。本番当日の子ども達の自信あふれた表情に、「どんな形であっても、会を開催に向けて検討してよかった」と。

お子様の姿、どの様に伝わったでしょうか？「出来た、出来なかった」という結果が重要ではなく、その場で自己発揮できたことが何ものにも変えられない姿です。学園では「基礎基本をくり返す【過程】を大切にする」「過程の中で、【目標】をもって【挑戦】する」事を日常取り組んでおります。これらをくり返すことで、『達成感や自己充実感を味わい更なる成長ができる』と、子どもと共に確認して過ごすようにしています。ご家庭においても、結果を求めすぎず試行錯誤する過程を共に体験してみてください。

きっと子ども達の持つ、「無限の力」を感じる事が出来ると思います。子どもと共に楽しみましょう！



朝のさわやかな風が、やさしく甘い香りをのせて、秋の深まりを伝えてくれます。昨日秋風に「金木犀」が香り心が癒されました。朝、窓をあけて大きく深呼吸してみられてはいかがですか。季節の移り変わりを体で感じる事が出来ます。

日本には四季があり、情緒豊かな言葉や表現と共に色や香り・形の変化と、「五感で感じる」事ができます。子ども達は「朝から寒かったね」「葉っぱの色変わってきたみたい」「雲の形前と違うよ」等、よく話してくれます。この違いを感じるためには、これまでの【経験・体験】が必要です。変化を共に【共感しあう相手】がいることと、【共有する時間】が大きく関わってきます。園では子どもの気づきを大切にしながら、先生自身も色々な方向へ目を向け、耳をかたむけ感じとるように過ごしています。「あれ？なんだか前と違うかも」等投げかけると、子ども達は先生が感じた変化を必死に探します。「これかな？ちょっと変わってきてるから、これかも前と違う！」と違った発見をしていきます。友だちが気付いたことに「そうだね」「これも違ってきたかも。みてみて」と共感しあいながら小さな移り変わりを子ども目線で見つけます。時にはびっくりするような発見もあり、みんなで楽しむことで、季節を感じています。戸外での経験も子ども達にとってとても大切なものです。感染対策をとりながら、公園や近くを散歩されてみてはいかがでしょうか。保護者の皆様との共有は子ども達の心にとって、最高の宝物になります。みんなで季節を楽しみましょう。10月は飯高山の自然探索も予定しています。



あさがおのたね



やまももの み



ハジメの み



だんごむしつけたよ

10月行事について

《実践報告会》

学園では、保護者と共に子どもたちを育てていきたいと思います（パートナー論）という考えの下、実践を報告する場を設け毎年県立劇場にてお伝えしてまいりました。その会も今年度9回目を迎え、準備を進めておりましたが、新型コロナ感染が収束しない中、やむなく会場参加開催を中止することと決定しました。どのような方法や形で「しせい教育」の考えのもと、日々取り組んでいることを保護者の皆様に伝えることが出来るかを検討しております。一つの場所に集まって報告することは出来ませんが、伝えることで、方向性を同じにし子ども達の成長に関わっていきたい思いは変わりません。決定しましたらお知らせしてまいりますので、ぜひ確認していただきたいと思っております。

○1 昨年発表練習の様子

次年度は10回目という記念の年でも有ります。コロナ禍のなかでも「伝える」方法を模索し、報告会を開催できるように検討を重ねてまいります。今後とも本学園の教育・考え方・大切にしていきたいことを共有していただき、パートナーとして関わっていただけるよう、益々のご理解・ご協力をお願い致します。



《お迎え訓練 延期》

10月23日実践報告会開催日に、「お迎え訓練」を一緒に計画しておりました。今回会場での会が中止となりましたので、やむなく訓練も延期とさせていただきます。しかし、非常事態時に迎えに来ていただく訓練は、【大切なお子様の命を守る】ものであり、【非常事態時に慌てず行動出来る】ことを目的とします。よって、今年度は今後の行事（保護者参加行事）を利用して、1回は訓練していきたくと考えております。園便り等で実施決定をお知らせしてまいりますので、毎月ご確認ください。



※毎月の訓練では「自分の命を守るには」を常に考え一人一人が取り組んでいます。

《以上児 活動参観 10/31》

今年度は色々な行事が縮小・延期・中止となり、子ども達の成長を見ていただく機会も減っています。運動発表会についても、内容を縮小したり経験が限られているように感じております。しかし、そのような状況の中でも「出来ることは、対策を講じて挑戦する」と日々の活動を大切に過ごしております。幼稚園教育要領・保育園保育指針・認定こども園教育要領の見直しの中、『幼児期の全ての子どもに教育を受ける機会を』と整理され、本学園では未満児においても「行動の意味」を踏まえて子どもと共に考え関わり、2歳児以上の子ども達については「教育」を視点において活動を行っております。

今回、以上児の活動参観を秋に延期しておりましたので、コロナ禍のなかで出来る方法を検討し年少～年長児（3歳～5歳児）の活動参観を計画しました。普段の活動においてお子様がどのように参加しているか、考えて行動できているか等を見ていただけたらと思います。急な設定となり、ご迷惑をお掛けしますが、時間を調整し是非ご参加ください。

尚、コロナ禍の状況と施設内で行うことから大変申し訳ありませんが、園児一人に対し保護者1名の参観とさせていただきます。ご理解・ご協力よろしくをお願い致します。